

# 盛岡に人を呼び、 まちを元気に。



平成27年9月、盛岡市に岩手県初の通年型アイスリンクが誕生しました。スケート競技者にとっては長年待ち望んだ施設。氷上スポーツを盛りあげると共に、盛岡に人を呼び交流人口を増やす新たな拠点として、今後の活用が注目されています。

昨年9月にオープンしたアイスリンク。一般利用者も徐々に増えています

## 建設の経緯と思い

1月27日から31日まで「希望郷いわて国体冬季大会」のアイスホッケー競技場として利用された盛岡市アイスリンク（以下アイスリンク）。公設では東北初の通年型アイスリンクです。既に盛岡市アイスアリーナ（以下アイスアリーナ）のリンクがありながら、通年型アイスリンク建設に至った経緯と活用目的について、盛岡市市民部スポーツ推進課課長の高橋元一さんに伺いました。

「第一に、冬季スポーツの振興と競技力向上を目的につくられた施設です。これまで長年にわたって地元のスケート競技団体から通年型練習施設に対する要望があり、その要望に応えるべく4年ほど前から建設に向けた計画を進めてきました。また、子ども達がスケート競技に興味を持ち、選手育成はもちろんな生涯スポーツとしての裾野を広げることにつなげていきたいと考えます」。

アイスアリーナでのスケート競技



「他県の選手たちも、合宿などで盛岡に来てくれるようにアピールしていきたい」と高橋さん

や練習は冬期間限定。これまで夏場の練習は他地区に出向かなくてはいけませんでした。冬期間であっても日中は一般客に開放するため、競技団体の練習時間は早朝や夕方以降。アイスホッケー、フィギュアスケート、カーリングなど20以上の団体やチームが調整しながら練習時間を確保しており、リンクはほぼ空きのない状況が続いてきました。24時間対応可能な（貸切の場合）アイスリンクの完成によって、各競技とも地元で1年を通して練習を重ねる環境が整備されたのです。

## 東北2番目の カーリング専用施設

同施設は国際規格に対応したトレイニング施設。60m×30mのスケートリンク、45・72m×5mのカーリングシートを常設、来年度はアイスアリーナのリンクを閉鎖してリンク機能をアイスリンクに移行する予定です。

アイスアリーナは広さも十分で観客席もあるので、イベントや観客を動員する競技向けの総合アリーナとして活用していく方向。アイスリンクは観客動員を想定した造りになっておらず、あくまで競技力向上のためのトレイニングに特化した施設です。

同施設の大きな特徴といえるのが常設した2面のカーリングシートがあること。青森に続く東北2番目の

専用施設です。ソチ五輪代表選手の  
苦米地美智子さんが同施設の指導員  
として常勤しており、現役選手を継  
続しながらカーリング競技指導にあ  
たっています。

## カーリングを市民皆で 楽しめる競技に！

「カーリングは氷上でストーンを  
滑らせる競技。すべりの状態が競技  
に直結し、カーリング専用かどうか  
で氷の管理状態が全く違います。選  
手にとって専用リンクがあることは  
非常にうれしく、全国各地の選手た  
ちが盛岡に来たいと話しています」  
と、施設の完成を喜ぶ苦米地さん。一



姉妹都市提携30周年記念事業でピクトリア市とアイスホッケー交流試合が行われました

方で、氷の管理にも携わっており  
オープンから半年を経て課題も感じ  
ています。

「これまで競技者として様々な環  
境でプレーしましたが施設管理に直  
接携わるのは初めてのこと。スケー  
トリンクと同空間の複合施設なので、  
カーリングに適した氷の状態管理が  
難しい面もあります。外気との温度  
差や空気の流れ、氷や室内の温度を  
踏まえ、よりよい氷の管理をするこ  
とが今後の課題です」。

世界の競技環境を知る指導者と練  
習設備を備えた今後、カーリング競  
技は盛岡の新たなブランドとして大  
きく育つ可能性を持っています。

「見た目以上に全身を使うスポー  
ツ。腹筋や背筋などの筋力、バラン  
ス、スピード感覚、作戦も大事です。  
経験者が少ないので皆が同じスタ  
ト地点に立って始めることができま  
すし、男女差や年齢差なく幅広い世  
代が一緒に遊べる楽しさがありま  
す」と、その魅力を話す苦米地さん。  
まずは体験してもらう機会を増やし、



「カーリングに注目してもらえよう、2月の全国大会でも良い結果を出したい」と苦米地さん



誰もが参加しやすいカーリング。企業対抗や地区対抗大会も盛り上がりそうです

競技としてカーリング普及に力を入  
れていきたいと意気込みます。

## スポーツエリア・本宮に 人を呼びこむ。

盛岡は、昔から氷上スポーツと深  
い関わりを持つ街。明治期に盛岡出  
身の新渡戸稲造がドイツから札幌農  
学校を持ち帰ったスケート靴が札幌  
におけるスケート普及のきっかけに  
なったと言われます。盛岡でも明治  
末期に高松の池で氷滑運動会が開催  
され、昭和23年以降、4回も国体が  
開かれています。また、昭和40年代  
には盛岡市内の民間施設が日本初の  
カーリング教室を開いたこともある  
のだとか。

かつてスケート王国と言われた時

代のように、氷上スポーツにまつわ  
る新たな話題を提供すべく、このア  
イスリンクに人を呼び込んでいきた  
いと高橋さんは話します。

「昨年はつなぎ温泉の宿泊施設を  
合宿向けに整備しました。今後は、広  
く県外の競技団体にも情報発信をす  
ると共に、地元小中学校の授業にス  
ケートやカーリング競技を取り込ん  
でもらう働きかけも進めていく予定  
です。たくさんの方がここで楽しん  
で本宮一帯がにぎわい、盛岡全体の  
交流人口拡大につながってほしいと  
思います」。

アイスリンクは盛岡広域圏で進め  
るスポーツツーリズムの拠点施設の  
一つ。県内外問わず冬季スポーツ競  
技者の受け皿になり、人を呼び込む  
きっかけになる場として期待されて  
います。通年型リンクの価値をどう  
生み出していくか、それがこれから  
の目標です。



カーリング用具は全て貸し出し可能。職場で体験会に参加してみても